



東京部会(第73回)

日時:	2015年3月10日(火) 19:00-21:15
場所:	日本大学経済学部2号館2階会議室
参加者:	[順不同]加藤一誠(日本大学経済学部)、中川雅之(日本大学経済学部)、榊原宏司(東京証券取引所)、大川明弘(川口市立仲町中学校)、大倉泰裕(千葉県立松戸向陽高等学校)、杉田孝之(千葉県立津田沼高等学校)、梶ヶ谷穰(神奈川県立海老名高校)、新井明(都立小石川中等教育学校)、升野伸子(筑波大学附属中学校)、鈴木孝治(日本経済教育センター)、以上10名。

【内容要旨】

(1) 最初に、夏休み「先生のための経済教室」の内容構成の確認と検討を行った。日程・会場等は、昨年とほぼ同様で、内容的には歴史シリーズの継続、Basic講座の中学への拡大、教科書を読み解くシリーズは事前に質問を準備しておいてそれにエコノミストが答える方式でより現場の先生方の疑問に応えるものにする、実践報告では新たな教材を中心に一コマに二人の先生が報告するスタイルにするなど、これまでの内容をベースとしてよりエコノミストと現場教員の懸け橋となるようなものを目指すことが確認された。東証の講義では決算書から株式会社の基本的なしくみを教科書に基づき平易に説明する講義を行うこととなった。入試問題の解説も継続することになった。そのほかの未確定部分も含め、関係者による内容のさらなる検討を踏まえ今月末までには内容、講師の確定を目指すことになった。

(2) 年次大会の内容の確認が中川先生、杉田先生からあった。中川先生からコーディネータとしての問題の解題と全体の流れの説明があり、それをうけて教員側からパネルディスカッションに出場する杉田先生から、問題提起の内容と発言の方向が説明された。また、奥田先生のメールに書かれた発言趣旨も加藤先生より紹介があった。お二方からは、中学高校とも現場では、社会保障は重要問題である認識はあるが、制度の説明で終わることが多く、その制度のよって来る背景や持続性の問題までは十分教えられていないことが浮かび上がった。基本的な部分も含めて現場教師が知りたいとおもう事項、疑問におもっている内容を、エコノミストと法学者がどう説明するか、それを踏まえてどう若い生徒たちに教えるかという方向で進行してゆくことが確認された。

なお、参加者の動員に関して、東京都の教員を中心に声掛けや案内のメール送付などの要請が行われた。

(2) 川口のワークショップの総括が、大川先生から報告された。参加人数は二年前とほぼ同数の42名。参加のきっかけでは知り合いからの呼びかけが三分の一。動機ではテーマが興味を持てる内容だったが半数弱。内容の評価では、二つの講義とも大変参考になったが多数あった。夏の教室への参加希望も多く表明されていた。今後は「模擬授業、時事問題を素材とした授業実践の紹介、法と経済に関するテーマ、社会保障、もっと平易なモノ」などの要望が上がり、今後の企画の参考になる貴重な意見が寄せられた。

(4) 二つの新しい企画が提案され、承認された。

ひとつは、「教材検討委員会」(東京)の発足。これは、現在京都で開催している地理教材作成の委員会を東京に拡大して、経済教育教材を作成して発信しようとするもの。さしあたり中川、加藤両先生と、新井の三名がコアメンバーとなり、テーマごとに少人数でのPT方式で教材作成にのぞみ、日本経済教育センターを通して教材化に取り組むことが承認された。



もう一つは、部会交流企画。東京、大阪、札幌など各部会へメンバーを相互に派遣して部会での教材開発を活性化することがねらい。派遣された先生は自作の教材をその部会に持ち寄り、検討してもらうことを原則として、情報交換をこえた教材開発力の向上を目指すことが確認された。

- (5) 大倉先生から、「中学校でどうやって経済を教えるか(その全体像について)」が報告された。これは、中学公民での経済授業の流れの全体像をどう構築するかを試案である。経済学習の核となる概念や考え方(インセンティブ、トレードオフ、効率・公正など)をどう全体の学習の流れと関連づけてゆくかの試論である。討論では、クルーグマンのテキストにヒントがあるのではないかと、概念の選定やそれと学習項目の関連付けに関しては検討の余地があるのではないかなどの疑問や意見がだされ、さらに検討してゆくことになった。
- (6) 試験問題の検討では、新井が期末考査で行った中三生むけの試験問題が紹介され、生徒の反応も合わせて紹介された。生徒が忘れないだろうとした概念では、比較優位が多く上がり、株式、機会費用などの概念がそれに続いたことも紹介された。また、新井からは本年度の早稲田大学法学部の比較生産費説の入試問題も紹介された。これはいわゆる「とんでも問題」であり、こんな出題をすることの高校教育への悪影響を出題者はもっと自覚する必要があるとの意見も出された。

以上 記録と文責 新井

なお、次回は4月16日(木)19:00~21:00。場所は日本大学経済学部。内容は、年次大会の総括、夏の経済教室の準備、実践報告、テスト問題の検討、経済教育のありかたなど。